

卷末資料

意見発表者1(会場①千葉県香取市)

意見の概要

はなはだしいと述べている。その上に、この
 大災害である。次の世代へ莫大な負の遺産を
 こねに押しつけてはならない。

し、大、我、有、な、つ、水、ど、が、み、き、み、か、れ、架、需、実、か、つ、省、継、
 こ、な、が、戦、て、い、に、血、ア、あ、み、え、ミ、カ、ル、空、要、利、ッ、益、続、今、
 り、財、国、者、ハ、二、困、の、一、つ、な、て、十、ふ、の、予、予、測、測、山、水、と、あ、り、の、
 復、赤、は、会、ツ、は、リ、ル、した、く、い、出、円、導、・測、測、あ、す、に、以、面、ま、ハ、
 金、子、の、人、戦、場、・は、に、使、び、と、。事、と、・水、も、う、の、利、ッ、家、と、あ、り、の、
 の、と、城、の、タ、提、し、が、用、あ、も、い、事、と、・水、も、う、の、利、ッ、家、と、あ、り、の、
 使、ッ、向、な、強、い、少、数、う、城、か、真、実、現、水、代、と、の、利、ッ、家、と、あ、り、の、
 道、不、安、要、国、に、化、で、ノ、く、性、も、と、利、自、場、は、北、リ、り、
 け、直、英、7、年、に、生、限、由、ク、北、リ、り、

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者2(会場①千葉県香取市)

意見の概要

関東地方整備局が発表した八ツ場ダム検証結果は、「予断なき検証」という触れ込みとは180度逆の、「予断だらけの検証」である。ダムが計画された60年前とは異なり、1都5県の水需要は減少の一途をたどっている。まず水需要を精査することから始めなければならないのに、今回の検証はこれを全く無視。一足飛びに「水は不足している」という前提からスタートしている。従って、「では、どこから水を引いてくるのか？富士川か？」という荒唐無稽な答が導き出されるのである。治水にしても、八ツ場ダムの流量カット効果は八斗島地点でわずか13センチの水位低下しかない、という市民団体の指摘に、国は反論するどころか黙認している状況。それにも関わらず、過大な洪水調節効果を提示するとは、非科学的としか言えない。真の洪水対策は、利根川流域の堤防補強と河道改修であることは論をまたない。国は検証の抜本的見直しを行うべきである。

意見発表者3(会場①千葉県香取市)

意見の概要

今	回	の	検	証	は	ダ	ム	事	業	継	続	あ	り	ま	と	い	う	結	論	を	出	す	た
め	の	中	身	や	進	め	方	で	あ	り	、	真	に	関	係	都	県	の	住	民	に	と	っ
て	の	必	要	性	が	治	水	、	利	水	と	の	他	の	点	に	お	い	て	客	観	的	科
に	検	証	さ	れ	て	い	な	い	。														
代	替	案	と	し	て	示	さ	れ	た	内	容	は	非	現	実	的	で	あ	り	、	密	査	審
議	で	行	わ	れ	た	こ	と	は	問	題	が	あ	る	。									
関	係	都	県	側	も	自	ら	検	証	を	行	わ	れ	ば	「	ダ	ム	の	早	期	完	成	」
「	ス	ト	縮	減	」	を	国	に	求	め	て	い	る	が	、	ダ	ム	基	本	計	画	の	変
更	え	の	関	連	で	今	後	に	新	た	な	問	題	が	生	じ	る	の	ど	ほ	な	い	だ
う	か	。																					
国	に	や	り	直	し	を	求	め	る	科	学	者	77	人	が	声	明	と	出	し	て	お	り
関	係	住	民	に	と	っ	て	真	に	必	要	な	対	策	案	に	つ	い	て	再	検	証	し
て	い	た	ら	う	な	い	。																

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場①千葉県香取市)

意見の概要

予断なき検証という名分には程遠い中身の検討報告(案)について以下のよう
な点を指摘したい。

【洪水調節の施策】利根川流域の治水の基礎となる河川整備計画が策定されて
いないため、国交省は「整備計画相当の目標流量」なるタームを恣意的に駆使
してダムの有効性を強調した。公正な議論の場でこれを行わなかったのは河川
法の求める理念と規定に反している。

【新規利水の施策】利水予定者の水需給計画の見直しは必須の要件であったは
ずにもかかわらず、各利水予定者が需給計画の見直しを行った形跡はない。そ
の前提に立てば「代替案はあり得ない」はずにもかかわらず、嘖然とするよう
な代替案を提示した検討報告書の意義に疑問を表明せざるを得ない。

【目的別の総合評価】洪水調節、新規利水および治水機能の維持について対策
案を抽出、対応した複数の評価軸によって評価がなされた。検証要領細目によ

って評価の最大眼目は「維持管理費も含めた上で建設コストを最重視」として
した。評価項目の個別中身は膨大なもので短期間の検証作業ではダム案に比し
て劣位の判定はむしろ当然。予断なき検証の本来の姿は、対策案としてゼロ・
オプション(ダム建設を行わない)を含むべきであった。その前提として「整
備計画相当の目標流量」、「利水予定者の水需給計画」の予断なき検証も行われ
るべきであった。

【費用対効果の検討】2010年10月、会計検査院がダム建設の費用対効果につ
いて問題点を指摘した。今回の検証はその指摘に適正に対応したものであったの
か、質問を兼ねて提起しておきたい。

【総括的な意見】①検討書作成過程で国交省河川局長から日本学術会議会長宛
てに「河川流出モデル・基本高水の検証に関する学術的評価について」依頼が
あり(2011年1月)、その結果は公表された(2011年9月)。その経過のなかで、
学術会議は河川管理の指標となる流量推定の不確実性に触れ、より合理的な河
川計画の手法確立、情報の共有、合意形成を図るための計画形成を要請してい
る。その事実には十分な留意をお願いする。②八ッ場ダムが建設されたとしても利
根川の河川整備基本方針(2006)による限り、さらに追加のダム建設を想定し
なければならないことを知った。これ以上のダム建設が事実上構想できないの
であるならば、河川環境の実態に即した河川整備の基本方針について関係諸団
体・機関・流域住民との議論を行うことを要請する。③ダム建設が止まっても
環境破壊の爪痕を記した自然が残る。地域にとどまっている住民の皆さんの生
活基盤再建のために、検討中の支援法案と併せて、「利根川・荒川水源地域対策
基金」が使われることを求めたい。

このような公共事業が再度繰り返されないことを切に願う。

了

意見発表者5(会場①千葉県香取市)

意見の概要

3月11日を契機として、日本のあり方についての見なおしが必要である。従来の、欲求は全て備える、との発想はかなわなくなった。

このほど1024兆円を超える国の債務が明らかにされ、国民一人当たり802万円の借金を抱える、とてつもない財政危機の状況にある。

この背景にありながら、なお八ッ場ダム建設事業は従来の計画を推し進めようとしている。

ムダで危険ですらある八ッ場ダム建設事業の中で、とくに「新規利水」については、人口が減少に転じた、との国勢調査結果を反映することなく、利水参画者の野放図な積算を、国交省は検証することなく検討報告に取り入れ、大きなムダを作ろうとしている。

東京電力福島原子力発電所の事故により、国民はわずかな節電の実施によって、原発によらない安全な生活を得られるという実績を積んだ。

利水においても「節水」という行動で、孫子への借金を減らすことが出来る、という利益を得られることに気づき、すでに実行している。

電力を節電していながら、水を流しっぱなしにする生活を国民は望んではいない。

新たな時代における、国民の節水と将来にわたる人口の減少、下流域での地下水の利用（東京都、千葉県のいずれも現状の利水維持）で、新規利水は不要である。

水需要計画を予断無く検証し、八ッ場ダムにとらわれない計画の策定をすべきである。

すでに6都県は国土省に対し、「完成が遅れた場合、ダム完成の時点でダム参加が不要になっていることも想定される」、と将来において水需給が減少することを認識した意見を表明しているのである。

以上

意見発表者1(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

	地	元	県	民	と	し	て	は	、	何	よ	り	も	、	計	画	ど	お	り	の	期	間	と	予
算	で	確	実	に	完	成	で	き	る	案	、	地	す	べ	り	や	自	然	災	害	の	不	安	の
無	い	案	を	希	望	し	ま	す	。															
	八	ッ	場	ダ	ム	の	本	来	の	目	的	で	あ	る	、	利	根	川	の	総	合	的	な	コ
ン	ト	ロ	ー	ル	の	た	め	に	は	、	一	支	流	に	巨	大	な	ダ	ム	を	造	る	よ	り
も	、	適	正	な	規	模	の	ダ	ム	や	堤	防	・	遊	水	地	等	各	種	の	治	水	利	
施	設	を	利	根	川	全	体	に	バ	ラ	ン	ス	よ	く	配	置	し	、	相	互	に	関	連	
せ	て	運	用	す	る	方	が	効	率	的	・	合	理	的	で	あ	る	こ	と	は	言	う	ま	
も	な	い	こ	と	だ	と	思	い	ま	す	。	八	ッ	場	ダ	ム	の	問	題	点	は	、	大	
す	ぎ	る	こ	と	で	す	。	ダ	ム	関	連	工	事	の	遅	れ	も	事	業	が	大	き	す	
る	こ	と	に	一	因	が	あ	り	、	災	害	時	の	被	害	の	重	大	さ	が	懸	念	さ	
る	の	も	対	象	範	囲	が	広	す	ぎ	る	か	ら	だ	と	思	い	ま	す	。				
	ダ	ム	本	体	の	設	計	を	変	更	し	て	、	総	貯	水	量	を	1	億	ト	ン	か	
5	千	万	ト	ン	程	度	に	縮	小	し	、	他	の	治	水	利	水	施	設	と	組	み	合	
る	こ	と	も	検	討	す	べ	き	だ	っ	た	と	思	い	ま	す	が	、	素	案	で	取	り	
げ	ら	れ	な	か	っ	た	の	は	残	念	な	こ	と	だ	と	思	い	ま	す	。				

意見発表者2(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

◆ 足元の地球の叫びを聴いてほしい ◆

八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討
報告書(素案)概要版を閲覧させて頂き地元一住民として
一言述べさせて頂きます

概要版を見させて頂き感じたことは、ダム事業建設についてあらゆる観点から実に幅広く検証されていると感じましたが、専門用語、数字等が非常に多く素人には理解、解釈することが困難でした。それはダム建設に係る検証作業ですから致し方ないと思われます。そんな中で、目的別総合評価で洪水調節、同・新規利水、同・流水の正常な機能の維持又、持続性、地域社会への配慮、環境への影響、費用対効果等が堤防のかさあげ、新規導水等のダムに頼らない事業よりダム建設の方が優位であることが証明、立証されていると感じられます

ほとんどの項目でダム案優位の結果をふまえ今後の検証作業がすむずに進みダム建設が実現されることを切望します。

概要版にも記載されておりますが、費用も作業も又水没住民の移転、代替え用地の取得も最終段階を迎え今ここで中止というような事態になったら今までに使われた莫い税金は藻屑と消去する事でしょう。

今回の意見聴取は述べるだけのことですが、もし(中止)ダムは出来ないそんな時は思いで深き故郷を捨てて出て言った人達が故郷が沈まないの昔のあの地帰りたいと言ったら戻してくれますか、古里へ移転してもいいですか又買い上げた農地は元の地主に売ってくれますか 沈まないのだから

こんな人達がおります こんな事も今後の検証作業に入れて検討して頂きたいダム案優位を実現し 犠牲を顧みずダム建設に協力した住民に安心と、安らぎを与えるのが、今の国の最大責務ではないでしょうか

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内に記述して下さい。

意見発表者3(会場②群馬県長野原町)

八ッ場ダム 建設事業の検証に係る検討

報告書(素案)概要版を閲覧させて頂き地元一住民として

一言述べさせて頂きます

概要版を見させて頂き感じたことは、ダム事業建設についてあらゆる観点から実に幅広く検証されていると感じましたが、専門用語、数字等が非常に多く素人には理解、解釈することが困難でした。それはダム建設に係る検証作業ですから致し方ないと思われます。そんな中で、目的別総合評価で洪水調節、同・新規利水、同・流水の正常な機能の維持又、持続性、地域社会への配慮、環境への影響、費用対効果等が堤防のかさあげ、新規導水等のダムに頼らない事業よりダム建設の方が優位であることが証明、立証されていると感じられます

ほとんどの項目でダム案優位の結果をふまえ今後の検証作業がすむずに進みダム建設が実現されることを切望します。

概要版にも記載されておりますが、費用も作業も又水没住民の移転、代替え用地の取得も最終段階を迎え今ここで中止というような事態になったら今までに使われた莫い税金は藻屑と消去する事でしょう。

今回の意見聴取は述べるだけのことですが、もし(中止)ダムは出来ないそんな時は思いで深き故郷を捨てて出て言った人達が故郷が沈まないの昔のあの地帰りたいと言ったら戻してくれますか、古里へ移転してもいいですか又買い上げた農地は元の地主に売ってくれますか 沈まないのだから

こんな人達がおります こんな事も今後の検証作業に入れて検討して頂きたいダム案優位を実現し 犠牲を顧みずダム建設に協力した住民に安心と、安らぎを与えるのが、今の国の最大責務ではないでしょうか

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内に記述して下さい。

意見発表者4(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

[illegible]

※楷書楷密まで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者5(会場②群馬県長野原町)

音見の概要

一、最初に——意見聴取の内容以前の問題なり。やり直しを求める

① ダム建設は、「原発」と同じく、まぎれもない「国策」の一つである。とりわけ59年目突入のハッ場ダムは、いわばその筆頭格と呼べよう。

従って、「最初にダムありき」の造らんがための至上命令が優先。強権を駆使して推し進められてきた自然破壊や、ふるさとを守ろうとする現地関係者の当たり前の権利さえもないがしろにされた過程。まさに人権蹂躪に値する事柄は枚挙にいとまがなく、相克の歴史をひもとく時、おのれと哭するものがある。

② 最も、看過できない最大の問題は、これからを担う、若い世代に財政的にも安全面からも、背負いきれない大きな負担を強いることにある。一連の政策審議に、何ら関与していないにも関わらずである。戦争・原発などに匹敵する国家の大罪とよべよう。

為に、責任のある親世代は、新政権樹立後の見直し策に、誰しも大いに期待した。が、裏切りに等しい愚策があいも変わらず続く。

③ 学問の誉と目されてきた「日本学術会議」にても、去る10/19、毎日新聞一面で報じられたような「最初に結論ありき」の現実が、谷誠京大教授の勇気ある質問状によって、白日のもとにさらされた。今般の「検閲に係る検討報告書」過程にも、日本学術会議・有識

者会議（非公開の密室の場合）と密接につながっていることは自明の理である。

④ 拙速すぎる。20日に公表し、本日29日締切とはいかにしても、ご都合主義では？

従って、治水・利水への意見を求められる内容検討以前に、「やり直し」を求める所以だ。その際、メンバーの人選には留意。非公開などの時代錯誤も甚だしい閉鎖性を伴なわぬことを強く要望する。

二、 上述を、裏付ける例として概要版より

① 概要版 P14~P16

これだけの地すべり危険箇所がありながら、それらを隠蔽してきた過去の責任問題。直ちに、水没地内の各戸に謝罪説明をすべきことではないか？

② 概要版のP25 水需要の点検確認

(審議過程の手順とはいえ)、これらの機関は皆、現行の体制維持の主たる関係機関。そこが必要としているからという茶番的な結論は断じてやめて欲しい。

意見発表者6(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

ハッダム建設に肉して、安心したダムづくりの
 ためにはこの地層地質に適したダムが問題ではないか
 と思ふ。もう一度原点に戻りダムの必要性、安全性を再検証
 して欲しい。今からでも間に合います。このダムの
 世代にこのが幸せな生活を送って欲しいから
 川原湯が有る、成長させてもらい今は町内に溢れ
 すが、私も今は一人の母親が。果たしてこのダムは
 安全が将来にわたって仮に立ち、子供や孫の世代にまで
 必要でしうか？ 科学的要素よりマイナス要素が
 多いでしうか？ 自然環境の激変、親失地として
 果たして受け入れがたいにひとり残さる年月、維持費を
 来世の世代に残してしまふ負の遺産にならないでしうか？
 このダムは、不安な将来の希望が遠くまで
 公平に立派な河川地質学の有識者の観点で国県民が
 もう一度立ち止まり見直しをして欲しいです。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者7(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

素案に野山ハッダム建設に反対する立場で意見述べ
 ます。このハッダムは、超党派でつくられた
 ため、多くの研究費が投入され、安全が保たれて
 います。しかし、このダムは、自然環境を破壊し、
 水質を悪化させ、生態系を崩壊させる恐れが
 あります。また、ダム建設による土地収用、
 移住など、住民の生活に大きな影響を与えて
 います。さらに、ダム建設による水質悪化、
 生態系破壊など、長期的な影響が懸念されて
 います。このため、私は、このダム建設に
 反対します。また、ダム建設による水質悪化、
 生態系破壊など、長期的な影響が懸念されて
 います。このため、私は、このダム建設に
 反対します。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者8(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

利	水	に	つ	い	て	・	利	根	川	流	域	6	都	県	の	上	水	道	の	一	日	最	大	給
水	量	は	1	9	9	0	年	代	後	半	か	ら	減	少	し	て	い	る	。	群	馬	県	の	場
合	も	上	水	道	の	一	日	最	大	給	水	量	は	1	9	9	7	年	か	ら	減	少	の	一
途	を	た	ど	っ	て	い	る	。	1	都	5	県	の	利	水	参	画	者	の	水	需	要	予	測
と	実	績	と	の	乖	離	に	つ	い	て	十	分	な	検	証	が	な	さ	れ	て	い	な	い	。
今	回	の	検	証	で	も	利	水	参	画	者	の	水	需	要	予	測	を	審	査	せ	ず	そ	の
ま	ま	容	認	し	て	い	る	事	が	問	題	で	あ	る	。	治	水	に	つ	い	て	・	国	交
省	の	試	算	で	は	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	規	模	の	台	風	が	襲	来	し	た	時	は
八	斗	島	地	点	で	の	ハ	ッ	場	ダ	ム	の	治	水	効	果	は	ゼ	ロ	と	し	て	い	る
。	ハ	ッ	場	ダ	ム	以	外	の	治	水	対	策	は	妥	当	性	が	な	い	。	利	根	川	の
治	水	対	策	は	治	水	効	果	の	な	い	ハ	ッ	場	ダ	ム	で	な	く	、	堤	防	整	備
・	強	化	と	河	床	掘	削	を	速	や	か	に	行	う	べ	き	で	あ	る	。				
地	す	べ	り	対	策	に	つ	い	て	・	地	す	べ	り	危	険	箇	所	が	2	2	ヶ	所	あ
る	。	い	ず	れ	も	地	質	が	脆	弱	で	地	震	な	ど	で	崩	壊	の	危	険	性	が	あ
る	。	地	す	べ	り	対	策	と	代	替	地	の	安	全	対	策	に	つ	い	て	検	証	を	行
う	べ	き	で	あ	る	。																		

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者9(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

増	割	2	の	約	状	現	を	量	水	給	大	最	の	都	京	東	は	て	い	つ	に	水	利
る	い	て	離	し	乖	から	か	現	現	な	る	す	が	に	日	/	m ³	万	0	0	馬	6	の
。	。	い	っ	て	ど	た	を	途	一	の	少	減	地	に	需	水	も	道	の	県	減	群	し
し	直	見	権	の	利	水	や	の	利	水	を	下	水	源	に	ダ	合	八	の	の	え	行	人
あ	で	無	は	皆	性	要	必	求	め	な	な	に	本	基	は	い	ッ	に	時	ば	治	を	。
大	過	く	著	し	あ	し	と	数	字	が	大	大	基	本	。	い	て	ッ	代	、	の	も	な
は	字	数	げ	た	あ	で	国	国	と	臣	臣	臣	馬	馬	。	い	場	ッ	八	、	の	な	。
検	の	こ	り	、	お	て	違	違	は	と	今	今	き	し	出	が	出	省	に	あ	の	ま	今
ッ	八	ど	い	な	る	い	操	操	は	と	で	ま	も	数	有	利	案	交	交	を	で	証	証
お	て	わ	行	。	あ	が	作	透	不	数	、	う	な	に	一	般	た	さ	交	の	ま	場	場
り	よ	っ	検	も	の	そ	の	。	あ	あ	め	見	か	地	人	の	配	案	交	ほ	心	も	。
か	な	し	証	し	検	作	の	。	。	。	。	安	の	現	、	な	っ	な	の	や	。	。	
問	合	大	も	も	れ	ら	。	。	。	。	。	ダ	大	。	い	え	か	な	ほ	。	。	。	。
。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者10(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

[illegible]

※楷書・簡書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者1(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

流域の水が健やかになることを願って水の勉強をしてきました。
そこで埼玉県は、洪水に脆弱な沖積低地が県土の約4割を占め、そ
こに人口・資産が集中し、その急増した県民に安定供給できる水が
足りないことを知りました。

流域の環境保全の点からも、ダムに代わる水は地下水と農業用水しかありません。地下水は長い時間をかけて作られる地球規模の水。農業用水は、埼玉ですでに二百数十万人分の水を転用しました。残された水は人間以外の生きものたちに残しておいてほしい。私たち人間の水は自前で用意すべきと考えます。

ハツ場ダムは埼玉にとって待ちに待ったダム。時間はかかりましたが機動隊を導入することなく水源地の方々の理解と協力をいただいたダムです。私たちの水道料金も永年投入してきました。この2年の空白に深い憤りを感じますが、再検証でその有効性が再確認された以上、一刻も早い建設再開を望みます。

意見発表者2(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

しきを計い給利岡案い八たきねを
図な都給て需る静替てはれ大跳ン
企断京需め水す、代れてわにがイ
を予東水求の保果水さい行段用サ
回、はたに者確結利がつが格費一
撒りてしム定をのな断に作りのゴ。
のあい離ダ予量その判水操よ案に
針でつ乖場水水。実う治の値替業い
方証にとッ利求た現い。字表代事て
止検水実八各要つ非とる数公水ムつ
中る利現をはのか、だあにの治ダな
はあ。量でそなど適でう前、場に
証にるは水証、わな最証よ従果ッ証
検先あ者な検て行るが検るが結八検
のがで定要のしかすムのな果の。の
ム論の予不回認し水ダ劇に効そたけ
ダ結も水は今容較導場番利水、つだ
場のい利来、ま比らッ茶有治れな形
ッ続遠る本がまのか八くがのらにの
八継程すてろのと川でし案ムげとめ
の業はとっこそ案士較さムダ上こた
回事とめよとを替富比まダ場きるる
今、証じに。画代のの。場ッ引がえ
た検は画る計水県とるッ八く上与

※ 株式会社 日本経済新聞社

意見発表者3(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

[illegible]

※楷書横書きで、できるだけ 400 文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

昭	和	2	2	年	の	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	の	際	、	私	の	住	ん	で	い	る	す	
ぐ	近	く	の	堤	防	が	決	壊	し	大	災	害	と	な	っ	た	。	我	が	家	も	被	災	者
家	族	で	あ	り	、	水	害	の	話	は	よ	く	話	題	に	の	ぼ	っ	て	い	る	。		
日	本	や	世	界	各	地	で	豪	雨	に	よ	る	大	規	模	な	水	害	の	ニ	ュ	ー	ス	
を	見	る	た	び	、	も	し	利	根	川	流	域	で	同	じ	よ	う	な	豪	雨	が	あ	っ	た
ら	と	不	安	に	な	る	。																	
今	回	の	検	証	で	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	が	利	根	川	流	域	の	治	水	上	、	費	
用	対	効	果	も	含	め	、	最	も	有	効	だ	と	の	結	果	が	出	た	か	ら	に	は	、
速	や	か	に	事	業	を	す	す	め	、	利	根	川	流	域	の	住	民	の	安	心	安	全	を
確	保	す	る	の	が	国	の	責	任	で	は	な	い	か	。	命	の	問	題	で	あ	る	。	
ま	た	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	は	、	利	水	の	面	に	お	い	て	も	、	埼	玉	県	の	
暫	定	水	利	権	の	問	題	を	解	消	し	、	渴	水	に	対	す	る	利	水	安	全	度	を
高	め	る	こ	と	が	今	回	の	検	証	で	明	ら	か	に	な	っ	て	い	る	。			
治	水	、	利	水	の	両	面	か	ら	ハ	ッ	場	ダ	ム	の	有	効	性	が	明	確	に	な	
っ	た	の	だ	か	ら	、	国	は	速	や	か	に	建	設	続	行	を	決	断	し	、	ダ	ム	の
早	期	完	成	を	目	指	す	べ	き	で	あ	る	。											

意見発表者5(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハッ場ダムの建設予定地には、名湯川原湯温泉があり、また、すぐ下流には吾妻溪谷という大事な宝がある。このあたりには、日本の原風景ともいえる貴重な里山も残っていたが、もうほとんど壊されてしまった。

一方で、ハッ場ダムの計画は、計画された当初は最新の技術だったかも知れないが、60年経った今は、やはり、時代遅れといわざるを得ない。

ダムによる治水はギャンブル的であり、また、日本や世界の各地でダムがの放流、決壊により大きな災害を生んでいる。

ダムをつくることよりも、洪水が起きそうな場所には住宅をおかない、住民は避難ができるようにしておくことが重要ではないだろうか。

利水では、水をためること以上に、水を大事に使うことが求められる。

とくに首都圏では、現在、ダムを新たに作るほど水不足は深刻という印象はない。

過去では、自然を破壊し、人間に都合のいいように作り替えることによって、私たちの生活を守ろうとしてきたが、これからは、人間が歩みより、自然の動きにあわせて柔軟に生きていかなければいけない。

意見発表者6(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

代替地崩壊の危険性については、報告書(素案)4.1.1、(1)、3)で「・・安定計算を実施し、対策工の必要性の点検を行った」としている。しかしながら、川原湯地区打越代替地については、長年の経緯のなかで、国交省の計算に対する安全性への懸念が解消されていない。この代替地の設計報告書(2003.3)によれば、湛水しない場合の設計条件として盛土内の間隙水圧(地下水)を盛土高の半分としながら、地下水を無視した計算結果が記載されていた。ほぼ同一条件で地下水を考慮すると、安全率が約3/4に低下することを円弧すべり解析によって発表者自身が確かめている。国交省があらためて現代替地の安全性を計算した報告書(2010.8.30)でも、打越代替地二、三期分該地は「地下水の可能性無し」としている。地下水の浸出無しとする根拠の現地法面観測日は、数日間降雨がなかった日を選んでいた。降雨があれば、谷筋の盛土内を地下水が流下すると考えるのが自然である。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者7(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

議論の的となっている公共事業の是非について検証するのであれば、建設推進派と反対派の双方が対等に客観的データに基づいて議論する場が不可欠だ。ところが今回の八ッ場ダムの検証は、事業を推進してきた立場の国交省と各都県の担当者のみで9回も会合を重ね、利水の必要性の前提となる水需要予測の取り方を批判的に問い直すこともなく、そもそも優先度の高い、効果的な治水対策とは何か検討することもなかった。つまり治水上利水上八ッ場ダム建設が必要か、その根本的な議論が欠けている。八ッ場ダムが必要となる治水利水上の目標を設定した上で、ダム以外で同等の効果を発揮する事業を考え出したところ、富士川や千曲川から導水するという荒唐無稽な代替案が出て、各都県から何度も批判を浴び、「やっぱり八ッ場ダム」との結論に至った、というのは、この検証の仕組みからして当然の筋書きであった。八ッ場ダム必要性の根本からの再検証を求める。

意見発表者8(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

この報告書で応桑層の認識(堆積環境と特性)が根本的に誤っているため、災害対策となっていない。このダムは、土砂災害を誘発するだけでなく、協力住民の生活圏まで奪うことになります。地域再生の要となる新駅建設地(上湯原地区)では1.3万年前に大規模地すべりが発生、背後から厚さ15m以上の山津波が襲い、吾妻川の河道が北へ移動しています。ダムを作り地下水を上昇させることは、応桑層分布域で同じ災害をもたらす状態を人為的につくる可能性が高いと考えます。この場合、鉄道と観光客が罹災します。この問題について、国交省・JRは認識していません。移転代替地の多くが、過去に地すべりを起した崩落土石の上にあります。地すべりと崩壊で蓄積した土砂は、浅間山が噴火した際、ダム堤の存在が下流域の河床上昇と破堤のリスクまで高めてしまうことになります。また、八斗島周辺の歴史時代の地震と火山活動(懐名・赤城山の崩壊)による災害履歴は検討すらされておらず災害対策の視点でも不十分なものとなっています。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者9(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

検証の目的と方法：

- 日本が直面している危機に際して、「なるべくダムに頼らない」という理念を予断なく追求すべき。公開の場で討議し、国民、政治家、マスコミが正しい理解を共有して判断すべき。
- 行政には「国民の英知を求める」という謙虚な姿勢が欠けている。

治水：

- 基本高水/目標流量は、実績流量との乖離が大き過ぎる。

利水：

- 水需給予測に関する水需要予測が過大。特に東京都。
- 暫定水利権は事実上安定しているので安定として扱うべき。

「費用対効果」には負の便益も算入すべき：

- 国交省の試算の中には、物理的にありえない前提に基づいているものもある。
- 便益には、マイナス便益も公平に算入した上で比較すべき。

完成時期と総工事費の増額：

- 推進側は「予定通り2015年までに完成せよ」と声高に主張しているが、現実的には今後10年にかかる。下流都県として原点から見直すべき。
- 建設費総額は追加工事、「減電補償」を含めて巨額の増額が予想される。

意見発表者10(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

わたしは東京都の多摩地域に住んでいる。多摩地域では水道水源の一部に地下水を使っている。多摩地域全体では約3割が地下水である。将来も水道水として飲み続けたいと思っているが、東京都は多摩の地下水を水道水源として算入していない。今回の検証がおかしいと思う点は大く土にあるが、中でも東京をけじめとするハッ場ダムに参画している都県が示した水需要予測をそのままにして非現実的な代替案を示し、その金額を比較していることは、とんでもないことだと思う。東京はまだ人口が増えているが、水の需要は減っている。東京都が予測している1日最大配水量600万m³は2003年に示した数字である。実際には、1992年には617万m³だったが、1993年以降着実に減っている。2003年には506万m³で、今では500万m³を割り込んでいる。このような状況を踏まえ水需要予測をし直せば、確実に少ない水需要になり、ハッ場ダムもはかけた代替案も必要ない。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者11(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハッ場ダムは完成させると、なお地域振興と環境保全に不都合があること。治水で示された代替案は発生する洪水をも正確に予測できず、治水のハッターンは有効と取り得るもののダムと平行して事業化する。ダムの洪水を突壁に防げない、暴風高水の予測値は過去最大値を基礎とする。行政の責任がある。水資源は水道水のメー主張するが農業用水、水路の汚染、水質汚濁、環境維持用水の確保を要望する。治水水利権は秋田に取組の仕組に改めると約束。水のダム論は幻想で、表流水は海に流れ地下水の多くは樹木の生長に消費される。山間部には巨大ダムの建設は高度成長期に必要であったが卒業した。荒川一調節池は970万m³、カヌーや釣り場と、東に1億m³に達する。必要の水は身近な所に留まらず、東に流れていく。水質は強酸性質の品物ダムの中和剤を付与する。別の方策と水の。吾輩は吾輩の景観保全は特に、俺所までの岩と土の保全の事を示すこと。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者12(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハッ場ダムは利根川の治水や利根川の水系を最も実
 現可能な事業として、コスト面から見て、
 このような結果が示された以上他の選
 択はあり得ない。計画通りに事業を完
 成すれば、埼玉県の水系は、日本一の人口急増県により慢
 性的な渇水状態となり、ハッ場ダムの完成により、
 定水利権を解消すること、埼玉県民の悲願である
 の暫定水利権を解消すること、大世帯により、利根川の堤防が
 また、去る3月11日の大世帯により、利根川の堤防が
 被災しており、堤防そのものの強度がねぐらされている恐
 りがある。上流からの洪水流量をより少なくすることが
 緊急の課題である。ハッ場ダムは上流の1/4を占める重要
 川流域の唯一のダムである。一刻も早く完成し、最近頻
 発している異常豪雨に備えるべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者13(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

本検証によっ、ハッ場ダムは利根川水系の治水や利
 根川の安全度を高める施設として、コスト面から見て、
 現可能な事業として、コスト面から見て、
 このような結果が示された以上他の選
 択はあり得ない。計画通りに事業を完
 成すれば、埼玉県の水系は、日本一の人口急増県により慢
 性的な渇水状態となり、ハッ場ダムの完成により、
 定水利権を解消すること、埼玉県民の悲願である
 の暫定水利権を解消すること、大世帯により、利根川の堤防が
 また、去る3月11日の大世帯により、利根川の堤防が
 被災しており、堤防そのものの強度がねぐらされている恐
 りがある。上流からの洪水流量をより少なくすることが
 緊急の課題である。ハッ場ダムは上流の1/4を占める重要
 川流域の唯一のダムである。一刻も早く完成し、最近頻
 発している異常豪雨に備えるべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者14(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

毎日、蛇口から水道の水を飲んでいる者として、ハッ場ダム
ダムの必要性について発言する。ハッ場ダムの検討報告
書素案の総合的な評価において、ダム案が最も有利であ
ると示されたが、検証を実施する前から判っていたこと
だと考える。3月11日の東日本大震災では、未曾有の
大災害となったが、国や水資源機構が管理する大規模な
水資源開発施設の被害報告はなかったと思う。事前にし
っかり調査を実施し、日頃から善良な管理を実施してい
る賜であると考え。今後、いつ何時、同様の大規模地
震や近年の異常気象による渇水が発生するか分らない
状況となっている。災害が発生しても県民の方々が安心
して生活できるよう、一日も早くハッ場ダムを完成させ
るべきであると考えている。したがって、ダム事業の検
証作業が行われているが、総合的な評価結果を真摯に受
け止め、早急に継続という最終判断がなされるよう熱望
する。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者15(会場③埼玉県さいたま市)

検討報告書(素案)において述べられている検討は、川の
事業継続ありきで、ダムにたよる治水への
の政策転換を促すものと考え、その一方で、河川整備局が連
「検討」とはいえ、とりわけ、関東地方整備局が連
かに策定手続をすすめるべき河川整備計画の策定を何年
もリボックおさなから、報告書に「河川整備計画相当の
目標流量17000m³/秒」と記述していること
は、ありふれたことが分かる。関東地方整備局は、「河川
(案の2)
整備計画相当の目標流量17000m³/秒」と前提として、
ハッ場ダムが「最悪」とある報告書と提出する。よって、天
の2007年度の河川整備計画策定手続の際に市民か
ら提出された多数の意見、疑問にまともな答えが
あべつぱら。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者16(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

[illegible]

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者17(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

洪水対策について伺いたい

ハッ場ダム建設事業検討報告書－洪水対策についての安全度の検証がされた項目、(4-5-1〇安全度)では、台風による災害のみが想定されているようであるが、浅間の爆発に関しては如何なものでしょうか？

1783年に起きた爆発では、土砂が流れ出し、ちょうどあのダムサイト予定場所で一旦塞き止められ、その後一気に流出した事実はその後の発掘においても明らかです。犠牲になった方たちの遺体が遠く千葉のあたりまで流れて行ったと聞いています。浅間の爆発による惨事は忘れてはいけない事なのではないでしょうか？ 浅間が爆発し土砂が流れ出せば、簡単に土砂ダムができます。今年の台風の時（熊野）の様な状況になるでしょう。台風と津波が一緒に起こったようなこの歴史に残る事実を想定外にしてよいものでしょうか？

意見発表者18(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

[illegible]

意見発表者19(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

検証素案に対する意見

この検証が八ッ場ダムありきの検証ではなかったか？強い疑念を持っています。

利水について：実績と大きく乖離した利水予定者の水需要予測の見直しがなされたのか？
予測の見直しをすれば、ハツ場ダムは不要となる。架空の水需要予測の見直しをしない検
証は科学的な検証ではなく、国民の血税の浪費をもたらすものである。

治水について：昭和22年のカスリーン台風からすでに60年間以上経過、利根川では河川改修が進められ、大きな洪水が来ても氾濫の危険性がなくなっていること、ハツ場ダムの治水効果があてにならないことを踏まえた検証が全く行われていない。

利水、治水とも公正で客観的で科学的な検証とは云えないので、再検証を求めます。

ダム貯水池の地すべりと代替地の安全性について：東日本大震災などの自然の猛威を踏まえた検証が必要である。

ハッ場ダムは取り返しのつかない災害を誘発する危険性があります。人の命と財産を守るためにハッ場ダム建設の即刻中止を求めます。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者20(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

- 1 ハッ場ダムの検証検討が、ダム事業者である関東地方整備局と1都5県であることに異議あります。
- 2 利根川の基本高水 22000m³/秒に異議あります。
- 3 利水における検証検討が、各都県の現行の水需給計画をそのまま確認して行われたことに異議あります。ことに茨城県民として茨城県の水余りに対して意見を述べます。

意見発表者21(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

い	ろ	い	ろ	と	犠	牲	を	強	い	ら	れ	て	い	る	地	元	の	方	々	の	気	持	ち	を
想	い	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	の	必	要	性	に	つ	い	て	発	言	す	る	。	ハ	ッ	場	ダ
ム	の	検	討	報	告	書	素	案	の	総	合	的	な	評	価	に	お	い	て	、	ダ	ム	案	が
最	も	有	利	で	あ	る	と	示	さ	れ	た	が	当	た	り	前	で	あ	る	と	考	え	る	。
埼	玉	県	は	、	昭	和	3	0	年	代	後	半	か	ら	高	度	成	長	に	伴	う	急	激	な
人	口	増	加	に	よ	り	、	地	下	水	が	過	剰	に	汲	み	上	げ	ら	れ	、	県	内	各
地	で	地	盤	沈	下	が	発	生	し	た	。	こ	の	た	め	、	埼	玉	県	で	は	地	盤	沈
下	防	止	を	目	的	に	県	営	水	道	を	発	足	さ	せ	、	水	道	水	源	を	地	下	水
か	ら	河	川	表	流	水	に	転	換	す	る	施	策	を	推	進	し	て	き	た	と	こ	ろ	で
あ	る	。	今	回	の	検	討	に	お	い	て	、	地	下	水	も	含	め	い	ろ	い	ろ	な	代
替	案	が	示	さ	れ	て	い	る	が	、	ど	れ	も	現	実	性	に	乏	し	い	も	の	ば	か
り	で	あ	り	、	比	較	す	る	に	値	し	な	い	も	の	ば	か	り	で	あ	る	。	し	た
が	っ	て	、	利	水	に	関	し	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	以	外	の	代	替	案	が	な	い	以
上	、	総	合	的	な	評	価	結	果	を	真	摯	に	受	け	止	め	、	早	急	に	継	続	と
い	う	最	終	判	断	を	し	、	一	日	も	早	く	完	成	さ	せ	て	い	た	だ	く	よ	う
強	く	望	む	。																				

意見発表者22(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

部厚い「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討」について
 の意見聴取があるが、私はこの中で記述の少ない品木
 人の問題について述べてみたい。命の危機を救うために
 2009年11月12日朝日新聞の記事で国交省が基準を起す
 と素を抽出していなから公表しない問題を取上げていた
 ところ、吾妻川に流れ込むいくつかの支流は強酸性で
 あるため、ダムは造れない川とされているために中絶す
 る品木ダムもつくりだす建設計画が進められたのだ。し
 かし、そのために石灰を1日60t投入し続けなければな
 らないのだ。火山活動で無限に酸化した酸性水、中和生
 成物が溜り続けるのである。そのため、それを後世つづ
 けるのであるが、水を絞ってセメント固化しかん湖周辺に
 高く積み上げていく。問題は酸性鉄がPHが高いと水溶性
 であり、酸塩と不溶性の水酸化鉄に分解され、周辺も
 と素汚染する。現状トライバースで500t以上を局
 所にためた素の存在に目を開く訳にはいかないのだ。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者23(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

水道事業に関する経験や知識に基づきハッ場ダムの必要
 性について発言する。ハッ場ダムの検討報告書素案の総
 合的な評価において、ダム案が最も有利であると示され
 たが当然の結果であると考え。埼玉県は、地下水と河
 川表流水を水源として給水しているが、約3割が渇水時
 に上乗せ制限を受け、暫定水利権であり、不安定な給水
 を強いられていると聞いている。埼玉県では、過去に頻
 繁に渇水に見舞われ、苦慮した苦い経験があり、安定給水
 を実現するため、ダムをはじめいろいろな方策の水源確
 保に努めてきた。ハッ場ダムは、他に水源開発施設のな
 い吾妻川流域に位置し、広く集水することができ、効率
 の良いダムであり、利根川上流ダム群と合わせ、本県の安
 定給水に寄与するものと信じている。したがって、ダム
 事業の検証作業が行われているが総合的な評価結果を真
 摯に受け止め、早急に継続という最終判断がなされ、一
 日も早く完成するよう強く熱望する。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者24(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

1	)	原	案	を	作	成	し	た	者	に	原	案	の	検	証	さ	せ	て	検	証	と	い	え	る	
か	基	本	的	な	疑	問	が	あ	り	ま	す	誤	り	と	認	め	な	い	限	り	同	じ	結	論	
が	で	ま	す	。																					
2	あ	ら	か	じ	め	枠	を	嵌	め	そ	の	中	で	作	業	す	る	「	初	め	に	結	論	あ	
り	」	に	見	ま	す	例	え	ば	各	県	の	水	需	用	を	徹	底	的	に	洗	い	直	し	た	
数	字	を	基	礎	に	し	て	な	い	。	東	京	都	の	水	需	用	と	供	給	の	差	は	百	万
t	/	d	以	上	で	す	。	こ	れ	だ	け	で	八	っ	場	ダ	ム	の	都	市	用	水	供	給	
量	約	10	t	/	s	を	充	分	ま	か	な	っ	て	い	る	か	ら	そ	も	そ	も	八	っ	場	
ダ	ム	は	い	ら	な	い	と	い	う	結	論	が	導	か	れ	る	。								
3	枠	を	超	え	た	大	胆	な	発	想	が	盛	ら	れ	て	な	い	。	百	年	と	か	50	年	
に	1	度	の	大	洪	水	を	許	容	す	る	霞	堤	等	と	補	償	、	ヨ	ー	ロ	ッ	パ	の	
河	川	再	自	然	化	、	氾	濫	原	の	回	復	(	オ	ラ	ン	ダ	で	の	川	沿	い	の	農	
地	を	も	と	の	氾	濫	原	に	、	堰	で	閉	じ	て	淡	水	に	し	た	気	水	域	を	河	
口	堰	を	半	開	放	で	も	と	に	戻	す	)	河	川	管	理	か	ら	流	域	管	理	へ	、	
な	ど	堂	堂	と	主	張	さ	れ	て	な	い	。													

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者25(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

今	回	検	証	の	利	水	に	つ	い	て	、	前	提	と	な	る	水	需	要	予	測	が	そ	も
そ	も	現	実	と	乖	離	し	て	い	る	。	首	都	圏	で	は	人	口	の	減	少	、	節	水
型	機	器	の	普	及	な	ど	に	よ	り	、	水	道	水	配	水	量	は	減	少	傾	向	に	あ
る	。	昨	年	、	私	た	ち	は	東	京	の	水	道	に	関	す	る	水	需	要	予	測	の	見
直	し	を	求	め	る	請	願	を	提	出	し	た	。	し	か	し	、	東	京	都	水	道	局	は
都	議	会	の	請	願	採	択	を	無	視	し	、	水	需	要	予	測	の	見	直	し	を	行	っ
て	い	な	い	。	検	証	で	は	ま	ず	、	利	水	の	前	提	条	件	を	正	し	く	把	握
す	る	た	め	に	、	利	水	予	定	者	の	水	受	給	計	画	を	厳	し	く	審	査	す	る
必	要	が	あ	っ	た	の	で	は	な	い	か	。	首	都	圏	の	人	々	が	必	要	と	し	て
い	な	い	水	の	利	水	の	た	め	に	山	間	の	自	然	を	壊	し	、	予	定	地	住	民
の	生	活	を	壊	す	こ	と	は	あ	っ	て	は	な	ら	な	い	こ	と	だ	。	ダ	ム	に	依
存	し	な	い	利	水	の	代	替	案	は	、	過	大	な	水	需	要	を	他	に	求	め	る	こ
と	で	は	な	く	、	水	循	環	の	回	復	に	よ	る	水	源	自	立	を	す	す	め	る	こ
と	に	あ	る	は	ず	。	東	京	も	多	摩	地	域	の	雨	水	浸	透	を	す	す	め	、	地
下	水	を	涵	養	し	、	保	有	水	源	を	守	る	こ	と	に	よ	り	、	ダ	ム	に	依	
し	な	い	利	水	計	画	が	つ	く	ら	れ	る	は	ず	と	確	信	し	て	い	る	。		

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者26(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

治水の点では、目標洪水流量を過大に定め(利根川の最近60年間の最大流量は1,998年の9,220 m³/秒の筈。採用している17,000 m³/秒は過大)、ハッ場ダムの治水効果を過大評価し(従来、八斗島地点における高水流量削減効果は600 m³/秒の筈。今回1176 m³/秒に引き上げた根拠がおかしい)、その結果、治水代替案よりハッ場ダム有利、の結論を作っている。

利水の点では、水需要実績を無視した過大な需要予測を行い(東京都の例では、一日最大配水量は1992年度からほぼ減少の一途をたどっているのに、都の予測では大きく増加していくことになっている)、利用予定者の保有水源の意図的な過小評価を行って(東京都は多摩地域の地下水45万 m³/日を水道水源として長年使っており、今後も使用可能な水源であるにもかかわらずこれを水道水源としてカウントしていない)、現実性のない利水代替案と比較してハッ場ダム有利、の結論を作っている。

上記の点を改めて適正な結論を導くべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者27(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

治水・利水において、ダム建設が有効であるという時代は終わりました。原発は安全で経済的であるという「神話」が終わりを告げたように、ダムは頼りになって経済的であるという「神話」も終わりです。今回の「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書」を読んでも「費用対効果」の検証は信用できないと思いました。検討に係った幹事の皆さんがこの「費用対効果」の数字的根拠についてどのくらい深く検討されたかはわかりませんが、公表されたものをざっと見ても不思議に思う数字が並んでいます。例えば、費用対効果の項目の内「流水の正常な機能の維持に関する便益」を約139億円と見込んでいますが、アンケート調査した50キロメートル圏内には、520,981世帯があるというので約120万人の住民がいると思われますが、1500人に調査用紙を送り648票帰ってきて有効票が281票であるとの記載があります。139億円を算出する根拠としては信じられない方法です。無理なコスト計算でダムを造るのは次世代に対して申し訳がありません。

意見発表者28(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

- 1、ハッ場ダムの必要性についての「検証」の問題点
治水に役立つのか
東京都民にハッ場ダム水は必要か
ハッ場ダムは発電に役立つのか
- 2、今後の検証のありかたについて

意見発表者29(会場③埼玉県さいたま市)

意見の類型

政治やう。原つが経緯をの無き
の員りた。反にすを政た。うい
國議うし「ムま社の私。そてう
のやそで「ない会進。すいしあ
こん」と中へて進推も。まほま
「役」二国く「た。でいし主し
は、とう。な選。ク件てるをこ
とくといいでがも。の似し性、
こはこと上げ畜長も。ムくも当
たほう」のたうのちダよま正
。でいい性。元い体た場と吹ハ
判のとは。集積と治人ハッ題が設
る「えな。」「自らハ同不違
政ある反きずムとい。発下ム
事にあに大まばなてん。原社ヤ
発めに建ムい「言つ。せば。ば
原ため正人てい中やま。原はで
島のたはの。を。をし主でせに
福民の三くまの。委員はの。書
1 國益コ多之。險知。講と。創
1 ち利ス。が。らう。國政。が
・ 正の又ま声「も。が。よと。討
3 私業をいのも。條は。之見。檢
は合意。上て。留し。變意。理。う

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記述して下さい。

意見発表者30(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハツ場ダム建設については、賛成をする方、反対をする方、色々な方がいらっしゃると思いますが、何よりも考えるべきは、ハツ場ダムが建設されるのか、されないのか、はっきりわからないうことでは、現地の人々を困らせることになり、最良の選択となる決定を、早急に行うことが求められているのだと考えます。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者1(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

ハツ場ダム建設事業推進を図ってもらう立場から以下の内容について陳述を希望します。

- (1) 気候変動に伴う世界的な異常降雨ならびに大洪水の状況と治水の予防的治水策インフラの確保は喫緊の課題
- (2) 事業投資の効果を確保は一番有利
- (3) 埼玉の根拠流域の安定的インフラ確保は、地域住民の生活基盤確保のため将来への保険保証と同義
- (4) 自然保全の観点から安定的な河川水の流下は恒常的な生態系の維持を図る。
- (5) 流域の民意を反映する各関係者の意見を最優先すべき

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者2(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

カ	ス	リ	ー	ン	台	風	に	よ	る	未	曾	有	の	悲	劇	を	教	訓	に	始	め	ら	れ	
た	利	根	川	流	域	の	関	係	都	県	や	市	町	村	に	よ	る	水	防	演	習	も	今	年
で	6	0	回	に	な	ろ	う	と	し	て	い	る												
	水	防	演	習	は	、	水	害	を	防	ぐ	具	体	的	な	訓	練	、	技	術	の	向	上	や
記	憶	を	風	化	さ	せ	な	い	意	識	啓	発	に	役	立	っ	て	い	る		私	は	水	防
団	長	と	し	て	、	平	成	1	0	年	か	ら	既	に	2	0	回	以	上	出	動	し	、	堤
防	の	漏	水	を	防	い	で	い	る															
性	を	肌	で	感	じ	る																		
	国	民	の	生	命	財	産	を	守	る	こ	と	は	、	国	家	の	本	務	で	あ	る		
根	川	流	域	の	治	水	対	策	に	お	い	て	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	が	現	実	的	に	最
も	よ	い	方	法	と	な	っ	た	か	ら	に	は	、	速	や	か	に	完	成	さ	せ	る	の	が
当	然	で	は	な	い	か																		
れ	ば	、	そ	れ	は	天	災	で	は	な	く	、	国	に	よ	る	人	災	と	な	っ	て	し	ま
う																								
	私	た	ち	利	根	川	流	域	の	住	民	が	安	心	し	て	暮	ら	し	て	い	け	る	よ
う	国	の	決	断	に	期	待	し	て	い	る													

意見発表者3(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

八ッ場ダム
 の切なる願
 が決壊した。今年3月11日の東日本大震災
 が、地震そのものが水害はもつと恐ろしい。東日本大震災でも
 大震災も怖い。が水害はもつと恐ろしい。東日本大震災でも
 地震災害対策は国の津波対策をしていながらもかかわらず、それ
 防波堤など大きな津波が押し寄せ大災害となり得ないのではな
 を超える大津波が押し寄せ大災害となり得ないのではな
 害に對してこれだけで十分というところにはある手段を尽くすべ
 い。か。生命財産を守るために治水対策上、現実的であるから、早
 八ッ場ダムが利根川の治水対策に
 法であるといふことが明らかな
 期に着工し完成を目指すのが

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

に	風	台	ン	ー	リ	ス	カ	の	年	22	和	昭	た	し	験	に	体	に	時	の	歳	5	が	私
住	が	私	、	し	ら	た	も	を	害	被	な	き	大	に	方	地	東	関	、	は	水	洪	る	
が	で	ま	る	至	に	馬	牛	ら	か	類	具	家	の	等	ス	ン	タ	や	、	家	も	域	地	
。	す	ま	び	か	浮	い	思	に	明	鮮	も	今	、	が	景	光	い	し	屋	恐	る	れ	さ	
た	い	て	し	を	動	活	て	し	と	団	防	消	元	地	り	な	と	人	会	社	、	に	更	
そ	し	擾	決	が	防	堤	の	川	根	利	、	り	怖	に	大	の	す	遇	度	幾	も	ろ	こ	
の	タ	し	ま	り	あ	も	れ	こ	上	じ	感	を	大	恐	雨	る	メ	、	遭	面	場	な	う	
、	ん	ろ	ち	い	て	は	々	げ	住	取	く	そ	、	で	と	イ	デ	、	般	た	被	ま		
				。	す	す	ま	む	て	え	こ	を	策	一	ア	も	な	深	は	害	界	水		
							大	お	て	し	と	策	対	減	の	害	な	大	う	の	業	こ		
雨	の	流	上	川	河	果	大	は	そ	、	地	要	重	が	こ	る	水	抑	を	の	の	流		
で	待	期	も	最	が	理	果	の	住	元	で	力	り	あ	建	え	ム	ダ	が	方	も	る		
っ	上	た	得	を	解	紀	世	民	、	下	、	場	協	と	設	ム	害	治	自	地	係	水		
開	再	わ	に	上	以	工	設	半	の	ム	の	ッ	力	八	負	の	体	推	設	建	関	き		
		期	早	の	事	す	ま	建	の	で	の	場	場	願	き	の	し	進	設	設	て	と		

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者5(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

本	検	証	に	よ	っ	て	、	八	ッ	場	ダ	ム	は	利	根	川	水	系	に	お	け	る	治
水	、	利	水	の	安	全	度	を	め	る	対	策	事	業	と	し	て	、	現	実	的	、	か
つ	な	こ	の	よ	う	な	検	証	が	明	示	さ	れ	た	以	上	他	の	選	択	肢	は	な
い	と	考	え	る	。	よ	っ	て	方	自	治	体	・	関	係	住	民	及	び	地	権	者	の
理	解	と	協	力	の	も	と	、	速	や	か	に	ダ	ム	本	体	工	事	に	着	手	し	、
画	通	り	に	事	業	を	完	成	す	べ	き	で	あ	る	。								
	利	根	川	流	域	住	民	は	、	6	4	年	前	の	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	に	よ
大	水	害	の	悲	劇	を	忘	れ	る	こ	と	は	で	き	な	い	し	忘	れ	て	は	な	ら
い	。																						
	私	達	は	、	歴	史	的	に	輪	中	の	地	に	生	き	る	人	と	し	て	、	日	常
断	か	ら	治	水	対	策	と	共	に	水	防	活	動	に	努	め	て	き	た	。			
	ハ	ッ	場	ダ	ム	建	設	は	、	今	後	3	0	年	で	整	備	可	能	な	整	備	と
て	、	完	成	を	目	前	に	し	て	お	り	ダ	ム	建	設	は	利	根	川	沿	線	住	民
治	水	安	全	度	を	高	め	る	た	め	、	国	は	建	設	に	責	任	を	持	つ	べ	き

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者6(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

お	合	が	果	ダ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。